

# 丸太除染 福島で方法探る

## 松江の排水処理会社、技術活用

福島県で伐採された丸太の除染に取り組んでいる排水処理会社「ネオナイト」は23日、福島県南相馬市で現地調査を始めた。東北大多元物質

科学研究所と協力し、来年2月末までに報告書をまとめる。

同社は、セシウムを吸着する効果がある鉱物「ゼオライト」を主原料とする独自の処理剤を使い、汚染水中の放射性セシウムを濃縮して、汚泥として分離する技術を持つ。日本原子力研究開発機構が同社に実証試験の事業委託をした。

高圧洗浄機の水量や洗浄時間、木の種類などを変えながら丸太を除染し、表皮や汚染水のサンプルを同研究所に持ち込んで処理剤の効果測定する。

丸太の汚染レベルを1センチあたり20ミリ以下に、高圧洗浄で出る汚染水を50ミリ以下に下げることが目安

に、作業員の安全性やコスト面で最良の方法を探る。

23日、南相馬市原町区の製材所で行われた調査には、同研究所の斎藤文良教

授や県内の木材業界関係者らが参加。同社は「事業の成果を地元企業に広め、復旧・復興に役立てたい」としている。